

## **8月末 古米在庫 94万ト** **4年産含め前年比 4万ト増**

農水省はこのほど、水稻うち米の8月末における民間在庫を122万トと発表した。前年同月末よりも4万ト(3%)多く、2ヵ月連続で前年同月を上回っている。

在庫のうち4年産は12万トで、前年同月末の3年産より1万ト(9%)多い。1年古米の3年産は94万トあるが、前年同月末の古米(2年産)より5万ト(5%)少ない。このほか集計上、年産を区分していない未検査米が16万ト(8万ト=89%増)あり、前年同月末から倍増している。8月末の民間在庫の増加は、主に未検査米の増加による。

全農・道県出荷組合など出荷段階にある在庫は97万トで、前年同月より8万ト(8%)多い。このうち4年産は9万ト(前年同月末の3年産比で1万ト=13%増)。3年産が78万ト(2万ト=3%増)に及び、在庫の8割を3年産古米が占めている。未検査米が10万ト(前年同月比8万ト=400%増)あり、5倍に膨らんでいる。

コメ卸など販売段階にある在庫は25万トで、前年同月末より4万ト(11%)少ない。このうち4年産は3万ト(前年同月末と変わらず)、3年産が17万ト(3万ト=15%減)ある。卸は新米の手当てを急いでいない。

過去6年間の8月末在庫(出荷段階と販売段階の合計)は、昨年が118万トで最多となっていたが、今年8月はこれを更新したことになる。